

原水がひどく濁った際の取り組み

原水がどれだけ濁ったとしても、原則として浄水場の運転を止めることはしません。原水の濁りの度合いに沿って薬品の量などを調整して、安全な水道水を供給しています。

ただし、臭気だけは完全に除去できない場合があるため、活性炭注入装置を設置し、臭気対策を行っています。



大雨時の松川の状況



妙琴浄水場の着水井での原水



適正な薬品使用により土砂などの不純物を沈殿させた原水

この後、急速ろ過行程を経て塩素消毒を行い、お客様へ水道水をお届けしています。

『ひどく濁った原水でも安全でおいしく飲んでいただくために』



妙琴沈砂池上に設置した活性炭注入装置



近年、ゲリラ豪雨が全国各地で発生しています。松川上流域でも激しい雨が確認されているため、臭気除去を目的とした設備を導入しました。